



軽井沢スキーバス転落事故から10年

**今こそ、安全・安心して働きやすい職場環境を
私たち手でつくりだそう！**



写真：ウィキメディア・コモンズ

2016年1月15日に長野県軽井沢町で発生したスキーバス事故から、10年が経過しました。運転士の技量不足や判断ミスだけではなく、「無理な運行計画」や「不十分な教育」、「コストを最優先とした経営」といった事業体質が重なった事故と言えます。鉄道やバスの運行に携わる私たちの仕事は、お客さまの「いのち」を預かり、目的地まで安全・安心・快適に送り届けなければならず、どれだけ技術が進歩していても、最後は私たちの「人の力」が重要になります。また、「安全は誰かがつくり出すものではなく、現場で働く私たち1人ひとりが地道につくり出していくもの」です。

今こそ、2度と同じ事故を繰り返さないために「不安なまま業務を行っていないか？」「十分な休養が取れているか？」「“おかしいことはおかしい”と、モノが言える職場風土になっているか？」など、職場の総点検を行い、安全、安心して働きやすい職場環境を私たちの手でつくりだしていきましょう！